



2021年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社今仙電機製作所  
 代 表 者 代表取締役 櫻井 孝充  
 社長執行役員  
 (コード番号: 7266 東証・名証第一部)  
 問 合 せ 先 グローバル経営事業本部 井上 達嗣  
 執行役員  
 T E L 0 5 6 8 - 6 7 - 1 2 1 1

## 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異 並びに通期連結業績予想値及び配当予想の修正に関するお知らせ

2021年6月7日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

また、2022年3月期通期の連結業績予想値について修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

(1) 2022年3月期 第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異  
(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 44,500	百万円 290	百万円 360	百万円 △140	円 銭 △6.09
実績値 (B)	43,270	238	583	△63	△2.74
増減額 (B-A)	△1,230	△52	223	77	
増減率 (%)	△2.8	△17.9	61.9	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期第2四半期)	36,277	△2,025	△2,048	△2,395	△115.07

(2) 2022年3月期 通期連結業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 92,900	百万円 1,590	百万円 1,760	百万円 420	円 銭 18.28
今回修正予想 (B)	86,300	100	490	△920	△40.01
増減額 (B-A)	△6,600	△1,490	△1,270	△1,340	
増減率 (%)	△7.1	△93.7	△72.1	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	87,096	△790	△581	△3,081	△143.67

(3) 差異および修正の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、半導体不足などによる自動車メーカーの減産影響や、アジアを中心とした新型コロナウイルス感染症によるロックダウン影響などを受け売上及び営業利益は前回予想を下回りましたが、経常利益は為替影響により前回予想を上回ることとなりました。

通期の業績予想につきましては、半導体供給不足による生産調整や原材料価格高騰の影響が見込まれることから、上記のとおり修正いたします。

なお、為替レートにつきましては1米ドル108円を想定しております。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年6月7日公表)	前期実績 (21年3月期 第2四半期)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	10円00銭	同左	5円00銭
配当金の総額	229百万円	—	104百万円
効力発生日	2021年12月6日	—	2020年12月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の内容

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期	期末	年間
前回予想	10円00銭	10円00銭	20円00銭
今回修正予想	<del>10円00銭</del>	5円00銭	15円00銭
当期実績	10円00銭	<del>10円00銭</del>	<del>20円00銭</del>
前期実績 (2021年3月期)	5円00銭	10円00銭	15円00銭

(3) 配当予想修正の理由

当社は、持続的な成長を維持していく中で、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様への安定的・継続的な利益還元を行うことを配当政策の基本方針としております。しかしながら、当期においては、半導体供給不足による生産調整や原材料価格高騰の影響により、上記連結業績予想のとおり損失が見込まれることから、当期の中間配当につきましては、1株当たり10円、期末配当予想は1株あたり5円、年間配当予想は1株あたり15円といたします。

以上